

事務事業名 健康の森管理事業		所属部 木次総合センター	所属課 事業管理課	
総合計画体系	政策名 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G 産業振興グループ	課長名 土屋和則	
	施策名 (35)観光の振興	担当者名 小林 等	電話番号 0854-40-1082 (内線) 4271	
	目的: 対象 市外の人 意図 A)雲南市を訪れてもらう。B)市内で消費してもらう。	予算科目 会計 款 大事業 大事業 0 1 3 0 0 1 項 目 中事業 中事業 1 0 1 0 0 2	林業施設管理事業	
	基本事業名 (105)受け地づくりの推進		健康の森管理事業	
目的: 対象 市外の人 意図 受け入れる。				

1 現状把握【DO】

(1)事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
当事業は、健康の森の管理にかかる事業である。平成18年度からは、木次都市開発㈱が指定管理者として管理運営を行っている。

(2)事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	24年度実績(24年度に行った主な活動) ①指定管理年度手続き②手数料等の執行③10万円以上の一般修繕対応	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 24年度と同様				
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 修繕件数(工事を含む)	件	2	5	8	8
	イ 管理にかかる契約件数	件	1	1	1	1
	ウ					
	エ					

(3)事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	①雲南市民 ②市外来場者	ア 雲南市民人口	人	41,917	41,159	40,548	40,440
		イ 観光入込客数	千人	885	950	966	970
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
①市民の健康増進と福祉の向上を図る。(市民) ②雲南市を訪れる人(交流人口)を増やし、経済効果を生み出す。	ア 健康づくりに取り組んでいる市民の割合	%	64.6	66.5	63.4	63.4	
	イ 来場者数	人	25,040	26,374	27,777	30,000	
	ウ						

(4)事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
修繕費2,784千円 指定管理料10,788千円 使用料25千円 工事請負費470千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	15	15	15
		一般財源	千円	15,866	15,395	14,052
		事業費計 (A)	千円	15,881	15,410	14,067
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2
		延べ業務時間	時間	453	678	653
		人件費計 (B)	千円	1,761	2,673	2,558
		トータルコスト(A)+(B)	千円	17,642	18,083	16,625

(5)事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
木次町時代から、直営管理、森林組合委託管理等を経て、平成18年度からは指定管理制度により木次都市開発㈱が管理している。施設設置後20年以上が経過し、修繕、改修が必要となっている。	近年の経済対策事業で施設修繕を実施したが、施設が広大なため今後も計画的に実施する必要がある。	指定管理者や健康の森に隣接する地域からインシデン被害対策の要望がある。さらに指定管理者からは、施設の修繕や改修の要望もある。22・23年度にテニスコートフレッシュ工事を実施し、特に団体利用者から好評である。

事務事業名	健康の森管理事業	所属部	木次総合センター	所属課	事業管理課
-------	----------	-----	----------	-----	-------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	利用施設の見直しと、今後効率的な設備投資を実施すれば、成果は向上すると考える。指定管理者は、昨年度より、ハーブ園の整備やハーブメニューに取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	雲南市への観光人口が減少し、経済効果が減少する。また、膨大な面積の市有地だけが残る。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない			統廃合については、この場所(市有地、自然)を生かすための事業であり、統廃合は考えにくい。
C 効率性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		指定管理料は、見直しにより21年度から徐々に削減できている。但し今後、施設の修繕等の増加が見込まれる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない		指定管理者の権限を拡大する。(修繕工事等)
	<input type="checkbox"/> 削減余地がない			
D 公平性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		使用者から利用料を徴収することにより、受益者負担が成り立っている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		テニスコートのリフレッシュやハーブの取り組みにより利用者が増加している。一方で、施設の老朽化が進んでいる。
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

## 3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
		コスト																	
	削減	維持	増加																
成果	向上	●																	
	維持		×																
	低下	×	×																
施設の利用を促進するイベントを誘致したり、ニーズの高い利用形態を伸ばすことにより、効率的な施設利用を模索する。管理、更新できない施設は、撤去廃止を含め今後のあり方を検討する。	廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																		